

2. 火山の概況 (平成 15 年 2 月 6 日 ~ 平成 15 年 2 月 12 日)

摩周では地震がやや多くなっている。十勝岳では微動があった。浅間山では小規模な噴火があった。三宅島では噴煙活動が継続した。阿蘇山では孤立型微動の多い状態が継続した。桜島では噴火があった。諏訪之瀬島では連続微動があった。



図1 記事を記載した火山

表1 最近1か月に記事を記載した火山

号	対象期間	摩周	十勝岳	岩手山	浅間山	三宅島	阿蘇山	桜島	諏訪之瀬島
7	2/ 6- 2/12								
6	1/30- 2/ 5								
5	1/23- 1/29								
4	1/16- 1/22								
3	1/ 9- 1/15								
2	1/ 2- 1/ 8								

注1 記号の意味

- : 噴火した火山
- : 観測データ等に变化があった火山
- : 前期間までに掲載した火山の、その後の状況等

注2 本文の火山名の後ろの[]内の[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ等を示す。

摩周 [地震] (期間外の13日の記述を含む)

12日から摩周湖付近を震源とする地震がやや多くなっている。

地震回数は、12日11回、13日40回で、弟子屈町美里では、13日04時17分の地震で震度2を、その他2回の地震で震度1を観測した。

十勝岳 [微動]

8日08時11分頃から継続時間約37分間の微動が観測された。今回の微動は、1988~89年の噴火活動後では規模が最も大きかった。なお、微動の発生前後で地震活動の状況に変化はなかった。

同日、北海道の協力で札幌管区気象台火山監視・情報センターが実施したヘリコプターからの観測では、噴煙活動の状況に変化はなく、火口周辺に降灰は認められなかったことから、噴火はなかったとみられる。

浅間山 [噴煙・降灰・火山ガス]

6日12時1分頃に小規模な噴火が発生し、少量の灰白色の噴煙が火口縁上300mまで上がり、南東に流れるのが確認された。有色噴煙の噴出は数分後には収まった。この噴火に伴い、振幅の小さな火山性微動が発生した。同日長野県警察本部が、翌7日群馬県の協力で前橋地方気象台が実施したヘリコプターからの調査により、山頂付近で少量の降灰が確認された。浅間山での噴火は1990年7月20日の小規模噴火以来であり、今回の噴火の規模は、火山性微動の振幅や継続時間、降灰の状況からみて、前回の小規模噴火より更に小さいものとみられる。

その後、噴火は発生していない。白色噴煙は連続的に噴出しており最高は火口縁上200m(6、12日)であった(前期間500m)。

7日に実施した火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は約1,900~2,700トン/日と多い状態であった(前回(1月16日)約500~800トン/日)。

1日当たりの地震回数は、6~8日は8~13回とやや少ない状態であったが、9日以降は22~37回

で推移し、全体としては地震活動に大きな変化はなかった（前期間 11～43 回）。
GPS 及び傾斜計による地殻変動観測では、特に異常な変化は観測されなかった。

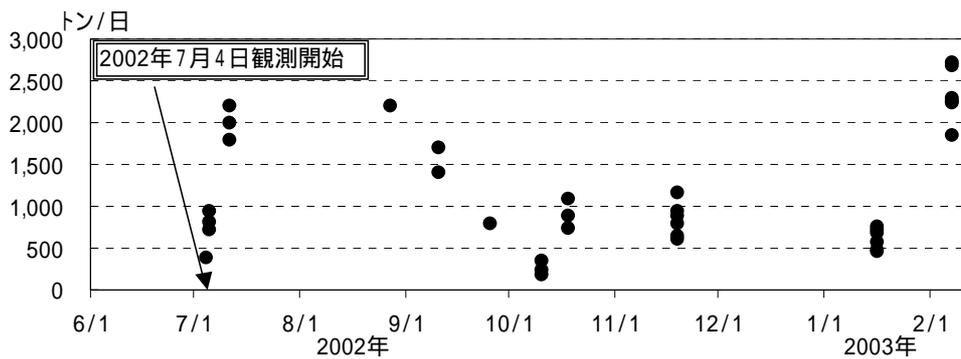


図2 浅間山 二酸化硫黄放出量（2002年7月～2003年2月）

三宅島 【噴煙】

白色噴煙は連続的に噴出しており最高は火口縁上 700m（6 日）であった（前期間 300m）。

振幅の小さいやや低周波地震が、9 日 10 時台、12 時台にそれぞれ 9 回と、一時的にまとまって発生したが、振幅のやや大きな低周波地震、微動は発生しておらず、火山活動に特に変化はなかった。なお、12 日 22 時 13 分頃、三宅村阿古で震度 4 を観測する地震が発生し、その後の余震により一時地震活動が活発となったが、これらの地震の震源は三宅島の西方約 10km、深さ 10～20km 付近であり、三宅島の火山活動に直接影響するものではないと考えられる。

GPS 観測では、収縮の傾向にあった三宅島の地殻変動は収縮率が小さくなり、静穏期にもみられるわずかな膨張に転じている。

阿蘇山 【微動】

孤立型微動の多い状態が継続している。今期間の発生回数は 1 日当たり 141～223 回、合計は 1,303 回（前期間 1,232 回）であった（図 3）。

地震の回数は少ない状態が続き、1 日当たり 1～17 回で、合計は 36 回であった（前期間 20 回）。

白色噴煙は連続的に噴出しており、最高は火口縁上 400m（9、10、12 日）であった（前期間 300 m）。

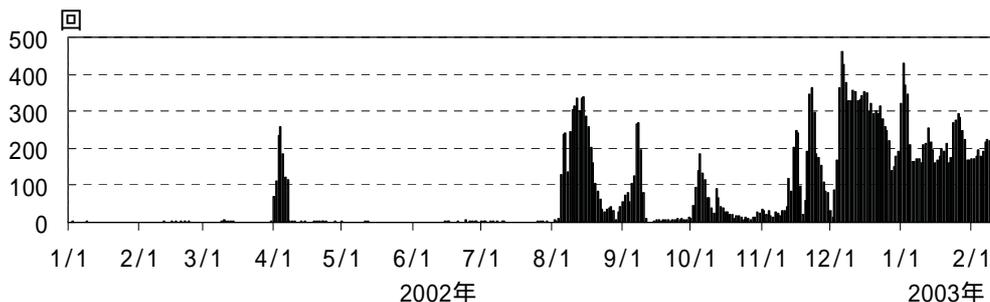


図3 阿蘇山 孤立型微動 日別回数
（2002年1月1日～2003年2月12日）

桜島 【爆発・空振・噴煙】

6 日に爆発^{*}的噴火が 1 回発生した（前期間噴火なし）。これに伴い、鹿児島地方气象台（南岳の西南西約 11km）では体感空振（中^{**}）が観測された。爆発音、噴石は確認されなかった。

噴煙高度の最高は、6 日の爆発に伴う火口縁上 2,000m であった（前期間 600m）。

鹿児島地方气象台では降灰は観測されなかった（前期間もなし）。

* 噴火の一形式で爆発的噴火の略

** だれにでも感じる程度

諏訪之瀬島 [鳴動・微動] (期間外の13日の記述を含む)

期間中、爆発は発生しなかった(前期間もなし)。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、島内の集落(御岳の南南西約4km)では、6、7日に鳴動が聞こえた。降灰は確認されなかった。

噴火活動の活発化を示す微動の発生状況は、連続微動が前期間の3日03時52分～9日12時38分まで継続したほか、11日20時00分以降、13日24時現在も継続中である。地震活動は低調で、1日当たり0～9回、合計は32回であった(前期間107回)。

表2 火山情報発表状況

火山名	火山情報名	発表日時	概要
十勝岳	臨時火山情報第1号	8日 08:35	微動の発生、噴火の可能性あり、噴煙の状況不明
	火山観測情報第1号	8日 10:00	聞き取り調査の結果降灰なし、地震低調、微動その後なし
	火山観測情報第2号	8日 13:20	上空からの観測結果(降灰なし、地熱の状態に変化なし)、微動なし、地震低調
	火山観測情報第3号	8日 15:20	噴火なし、地震活動・噴煙活動に異常なし
三宅島	火山観測情報第69号 (1日2回発表)	6日 09:30	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)
	火山観測情報第82号	12日 16:30	
浅間山	火山観測情報第1号	6日 15:45	少量の有色噴煙を観測。
	火山観測情報第2号	6日 18:40	長野県警がヘリコプターで山頂付近に少量の降灰を確認。山腹の道路・居住地には降灰なし。
阿蘇山	火山観測情報第6号	10日 10:10	孤立型微動の多い状態が継続、中岳第一火口の噴煙活動・湯だまりの状態に大きな変化なし